

HUMANITY

13th EDITION | 2025.4.12 SAT — 5.11 SUN

KYOTOGRAPHIE 2025 | 2nd. Press Release | 2025.2.25 p.1/11



©JR

追加メインプログラムと フェスティバルパートナーの発表 KYOTOGRAPHIE・KG+ 記念書籍の刊行 前売チケット好評発売中！

今年で第13回を迎える日本最大の写真祭「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」を、**2025年4月12日(土)から5月11日(日)**まで開催いたします。

メインプログラムの全15会場を1回ずつ観覧できるパスポートチケットを、公式Webサイトにて前売り発売中(一般5,500円より)。

また、KYOTOGRAPHIEとKG+SELECTの歴史を記念したオリジナルの書籍を2冊刊行します。『KYOTOGRAPHIE: A Kyoto Story』は、KYOTOGRAPHIEの12年間の芸術的・創造的なビジョンを振り返り祝福する記念碑的な1冊。『KG+SELECT 10 YEARS, 10 ARTISTS』は、KG+のアワード開設10年の軌跡を振り返り、10年間のアワード受賞者10名の作品を掲載した写真集。いずれも、フェスティバル期間中はインフォメーション町家とTIME'Sにて、公式カタログとともに販売します。

開催概要

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2025

会期: 2025年4月12日(土) - 5月11日(日)

プレス向け内覧会: 4月11日(金)

主催: 一般社団法人KYOTOGRAPHIE

パスポートチケット: 一般 6,000円(前売り5,500円)

学生 3,000円(前売りも同額)

お問い合わせ

KYOTOGRAPHIE 事務局

〒604-0995 京都市中京区久遠院前町672-1

Tel. 075 708 7108

プレス担当

須田千尋 (CHIHIRO SUDA INC)

chihiro@chihirosuda.com

市川靖子

i@iroiroiroiro.jp

小泉智子 (Kyoto PR)

tomoko.koizumi@kyotographic.jp

KYOTO
GRAPHIE

international
photography festival



The Golden Pavilion Temple, Kyoto, Japan, 1993. Martin Parr © Martin Parr/Magnum Photos

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2025 メインプログラム

アダム・ルハナ、イーモン・ドイル、エリック・ボワトヴァン、グラシエラ・イトゥルビデ、劉 星佑 (リュウ・セイユウ)、JR、甲斐啓二郎、レティシア・キイ、リー・シュルマン&オマー・ヴィクター・ディオブ、石川真生、マーティン・パー、ブシュバマラ・N、吉田多麻希、土田ヒロミら14組みのアーティストの参加が決定しており、京都市内の15会場で14のプログラムを開催します。会場は、寺院や京都を象徴する名所、現代的な空間に加え、今年は京都駅での写真壁画というユニークな企画もありKYOTOGRAPHIEが京都の街へと広がります。

2025年は「HUMANITY」をテーマに、戦争、ジェンダー、アイデンティティ、感情、コミュニティ、つながり、自然、痛み、愛といったさまざまな視点から探求した展覧会を開催します。また追加発表となるKYOTOGRAPHIEがキュレーションする土田ヒロミらによるグループ展では、2025年に考えるべき問題を提示する展示を八竹庵 (旧川崎邸) にて行います。

関連イベント&関連展覧会

メインプログラムに加え、数多くの関連イベントや教育プログラムなども開催します。

詳細は公式Webサイトにて随時発表。

・KYOTOGRAPHIE ラーニング・プログラム

パブリックプログラム、インターナショナルポートフォリオレビュー、キッズプログラム、マスタークラス等のイベントを行います。詳細は3月に公式Webサイトにて随時発表。

・アソシエイテッドプログラム

超芸術トマソンに関する作品の展示、また、京都で40年続く雑誌『Kyoto Journal』にこれまで掲載された写真家の作品の展示、さらには雑誌『Another Man』と横田大輔とのコラボレーション作品の展示が、それぞれ連携プログラムとして同時期に開催されます。

・KYOTOGRAPHIE & KG+ PHOTOBOOK FAIR 2025

国内外の出版社や書店が集い、写真集などの出版物を販売するブックフェア。写真集の魅力を直接伝え、写真集と読者の新たな出会いの場となることを目的として開催します。

・KG+

KYOTOGRAPHIEのサテライトイベントとして開催される公募型の写真祭。2025年は、市内各所約120会場で150を超える展覧会が開かれ、過去最多の参加となります。

・KYOTOPHONIE 2025 春

KYOTOGRAPHIEの姉妹音楽フェスティバルであるKYOTOPHONIEを、待望の2025年春エディションとして今年も開催します。

世界的な文化的なアイコンであるパティ・スミスとニューヨークやベルリンを拠点に活動する現代音響芸術コレクティブ「サウンドウォーク・コレクティブ」、水曜日のカンパネラの初代ボーカリストコムアイとサウンドアーティストの森永泰弘、そしてブラジルで人気を集めるファルセット・ヴォイスのロックスター、フィリペ・カットが登場。

KYOTO
GRAPHIE

international
photography festival

MAIN PROGRAM

KYOTOGRAPHIE 2025 | 2nd. Press Release | 2025.2.25 p.3/11

ADAM ROUHANA

アダム・ルハナ

(タイトルは後日発表)

会場: 八竹庵 (旧川崎家住宅)



© Adam Rouhana

NEW! HIROMI TSUCHIDA AND OTHERS

土田ヒロミ 他

「LITTLE BOY」

会場: 八竹庵 (旧川崎家住宅)

作品は会場にて発表

KEIJIRO KAI

甲斐啓二郎

「骨の髄」

Supported by Fujifilm

会場: くらちく万蔵ビル



Clothed in Sunny Finery, Okayama, 2018

© Keijiro Kai

MAO ISHIKAWA

石川 真生

(タイトルは後日発表)

Presented by SIGMA

会場: 菅田屋源兵衛 竹院の間



© Mao Ishikawa

PUSHPAMALA N

プシュパマラ・N

「Dressing Up: Pushpamala N」

Presented by CHANEL Nexus Hall

会場: 京都文化博物館 別館



Bharat Mata © Pushpamala N

LEE SHULMAN & OMAR VICTOR DIOP

リー・シュルマン & オマー・ヴィクター・ディオプ

The Anonymous Project presents

「Being There」

Supported by agnès b.

会場: 嶋臺 (しまだい) ギャラリー 東館



Being There_ 52-V1, 2024, The Anonymous Project
© Lee Shulman & Omar Victor Diop

HSING-YU LIU

劉 星佑 (リュウ・セイユウ)

(タイトルは後日発表)

KG+SELECT Award 2024 Winner

会場: ギャラリー素形



My Parents-Stigmata I
© Liu Hsing-Yu

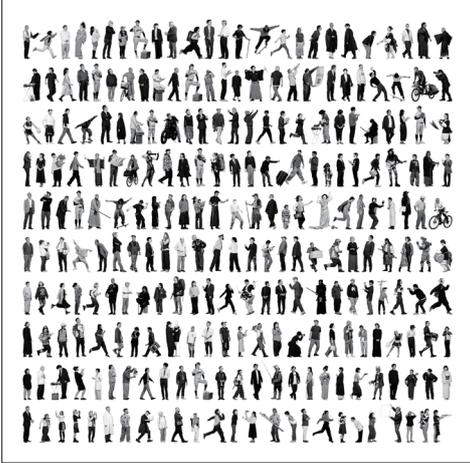
MAIN PROGRAM

KYOTOGRAPHIE 2025 | 2nd. Press Release | 2025.2.19 p.5/11

JR

「Printing the Chronicles of Kyoto」

会場：京都新聞ビル地下1階 (印刷工場跡)



© JR

JR

「JR, The Chronicles of Kyoto, 2024」

会場：京都駅ビル北側通路壁面



© JR

GRACIELA ITRUBIDE

グラシエラ・イトゥルビデ

「グラシエラ・イトゥルビデ」

Presented by DIOR

会場：京都市美術館 別館



© Graciela Iturbide

MARTIN PARR

マーティン・パー

「Small World」

In collaboration with Magnum Photos

会場：TIME'S NEW!



Chichén Itzá, Mexico, 2002
© Martin Parr/Magnum Photos

LAETTIA KY

レティシア・キイ

「LOVE & JUSTICE」

Supported by Cheerio

会場：ASPHODEL



Feminist!, 2022, Abidjan © Laetitia Ky

LAETTIA KY

レティシア・キイ

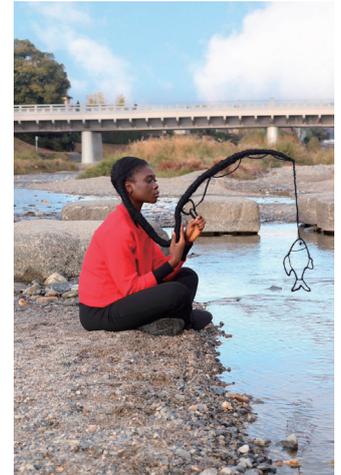
(タイトルは後日発表)

KYOTOGRAPHIE

African Residency Program

会場：出町裨形商店街

DELTA/KYOTOGRAPHIE Permanent Space



Fishing in kamo river, 2024, Kyoto
© Laetitia Ky

TAMAKI YOSHIDA

吉田多麻希

「土を継ぐ」

Ruinart Japan Award 2024 Winner

Presented by Ruinart

会場：TIME'S NEW!



© Tamaki Yoshida

MAIN PROGRAM

KYOTOGRAPIE 2025 | 2nd. Press Release | 2025.2.25 p.5/11

ERIC POITEVIN

エリック・ポワトヴァン

「両忘—The Space Between」
Presented by Van Cleef & Arpels
会場：両足院



© Eric Poitevin

EAMONN DOYLE

イーモン・ドイル

「K」
With the support of
the Government of Ireland
会場：東本願寺 大玄関 **NEW!**



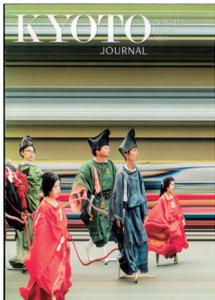
K-01 (Irish series), 2018
© Eamonn Doyle

ASSOCIATED PROGRAM

ヴィジョンを届ける

「KYOTO JOURNAL」の心意気の仕事

会場：嶋臺 (しまだい) ギャラリー 西館



Kyoto Journal Issue 94



Kyoto Journal Issue 107

NEW!

横田大輔× Another Man

会場：The Lombard



© Daisuke Yokota

京トマソン マラソン

赤瀬川原平 / 超芸術トマソン / 路上観察

会場：京都芸術センター

協賛：京都芸術センター創立25周年記念事業



「路上観察学会発会式, 1986年6月10日」撮影：飯村昭彦

SPONSORS

KYOTOGRAPHIE 2025 | 2nd. Press Release | 2025.2.25 p.6/11

KYOTOGRAPHIE 2025 は、以下のスポンサーの皆様のご支援により開催されます。

主催 | Organiser

一般社団法人 KYOTOGRAPHIE
KYOTOGRAPHIE Kyoto International Photography Festival

共催 | Co-Organisers



京都市教育委員会
Kyoto City Board of Education

プレミアムスポンサー | Premium Sponsor

協賛 | Sponsors

CHANEL
NEXUS HALL

Van Cleef & Arpels

SIGMA

Ruinart

FUJIFILM



特別コラボレーション | Special Collaboration

DIOR

協賛 | Sponsors

agnès b.



kwol

OMRON



MCDecaux

BYRIEKO

AceHotel
Kyoto

NISSHA



7-LMZ
FRAME MAN

OLSTATION
THE KYOTO BLDG



DAIMARU

PIERRE HERMÉ
PARIS

ぐるあく

TICKETS

パスポートチケット

パスポートチケット、エクスプレス・パスポートチケットの前売りを販売中。

パスポートチケットは、メインプログラムの全会場に1回ずつ入場可能。

e-パスポート(デジタル)または紙チケットとしてご利用いただけます。複数の展示を巡る方にとって、最もお得なチケットです。

種別		前売り販売 (2月20日-4月11日)	フェスティバル会期中 (4月12日-5月11日)	チケットの種類
パスポート チケット	一般	¥5,500	¥6,000	e-パスポート(デジタル) 紙チケット
	学生	-	¥3,000	e-パスポート(デジタル) 紙チケット
エクスプレス・パスポート		-	¥15,000	e-パスポート(デジタル) 紙チケット

購入可能な場所

前売りチケットは、公式Webサイトに掲載のオンラインショップ(ArtSticker)と一部書店、旅行代理店などで販売。

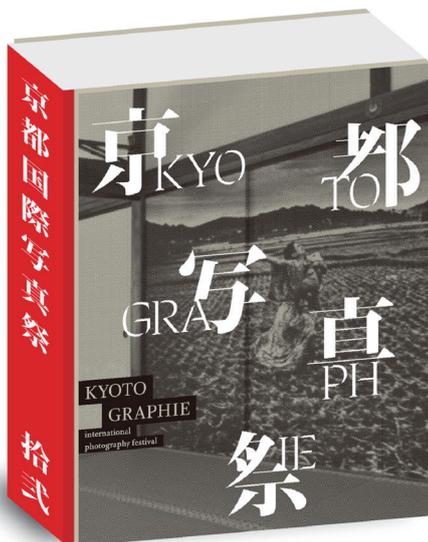
会期中のチケットは、公式Webサイトに掲載のオンラインショップ(ArtSticker)と各インフォメーションセンター、有料会場、一部書店、旅行代理店などで販売(予定)。

その他のチケット

会期中は、平日限定パスポートチケットや、特定の会場にのみ入場できるパスポートチケット、単館チケット(600-1,500円)なども販売(予定)。また、京都市民割や団体割引なども実施(予定)。詳細は後日発表いたします。

KYOTOGRAPHIE Anniversary Publication

KYOTOGRAPHIE 2025 | 2nd. Press Release | 2025.2.25 p.7/11



KYOTOGRAPHIE: A Kyoto Story

『KYOTOGRAPHIE: A Kyoto Story』は、KYOTOGRAPHIEの起源と12年間の歩みを紐解く一冊として、12周年記念書籍を刊行します。本書では、KYOTOGRAPHIEが文化的にもたらした影響と歴史を紐解きながら、共同創設者であるルシール・レイボーズと仲西祐介の自身のストーリーを交え、京都という独自の文化的背景の中で育まれたコミュニティの声を織り交ぜています。

写真祭を作り上げるために彩られてきたさまざまなストーリーや対談、洞察を通じて、KYOTOGRAPHIEをかたちづくってきた人々と場所へのオマージュとなる一冊です。

寄稿者

フランソワ・エベル | ニューヨーク国際写真センター 理事

片岡真実 | 森美術館館長 / 国立アトリサーチセンター長

ウスビ・サコ | 京都精華大学 人間環境デザインプログラム 教授

榮榮&映里 (ロンロン&インリ) | 写真家 / 三影堂撮影芸術中心 創設者

その他多数

販売価格 | ¥5,500 (+税)

販売場所 | インフォメーション町家、TIME'S (会期中)、

KYOTOGRAPHIE & KG+ PHOTOBOOK FAIR 2025 (4月25日-27日) にて販売

KYOTOGRAPHIE: A Kyoto Story

サイズ | 245×195mm

製本 | ハードカバー

ブックデザイン | 山田浩之 (RAS)

編集 | 大野秀子グレイス

印刷 | 株式会社サンエムカラー

発行 | 一般社団法人 KYOTOGRAPHIE

発売元 | 青幻舎

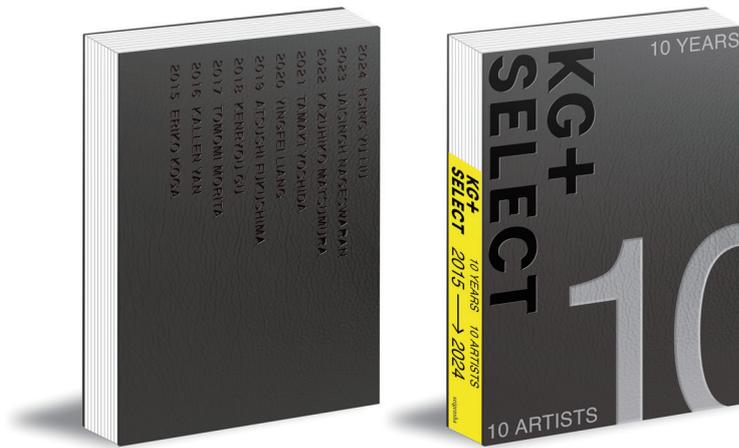
刊行 | 2025年4月発売 (予定)

ISBN | 978-4-86152-991-7

KG+

Anniversary Publications

KYOTOGRAPHIE 2025 | 2nd. Press Release | 2025.2.25 p.8/11



KG+ SELECT 10 YEARS, 10 ARTISTS

『KG+SELECT 10 YEARS, 10 ARTISTS』は、KG+のアワード開設10年の軌跡を振り返り、各年のアワード受賞者10名の作品を掲載した写真集です。

KG+のアワード部門は「KG+ AWARD」として2015年にスタートし、2019年より「KG+SELECT Award」へと改称されました。スペシャリストで構成される審査委員会によって1名のアワード受賞者が選出。アワード受賞者は、翌年のKYOTOGRAPHIEのメインプログラムで展示ができるステップアップ型のアワードです。

過去10年のアワード受賞者は、これを機にとして作家活動を飛躍させ、世界を舞台に歩んできました。写真集の出版や海外の写真祭への参加、個展の開催やグループ展への参加、国内外のメディアに特集されるなど、彼らの活動は幅広く注目を集めています。

本書では各年のアワード受賞者の写真作品を編み直して掲載、さらに受賞時から現在までの作品を収録し作家活動への思いを綴っています。合わせてKYOTOGRAPHIEとKG+ディレクターのロングインタビュー、竹内万里子(作家・批評家)やパスカル・ボーズ(キュレーター)の寄稿も収録。アワードの歴史や目的、写真家との歩みを俯瞰し、過去と歴史をつなぐ標のような1冊となるでしょう。

特集アーティスト:

2015年 古賀絵里子	2020年 梁莹菲
2016年 殷家樑	2021年 吉田多麻希
2017年 森田具海	2022年 松村和彦
2018年 顧劍亨	2023年 ジャイシング・ナゲシュワラン
2019年 福島あつし	2024年 劉星佑

販売価格 | ¥4,500 (+税)
(予約注文特別価格 ¥4,000 +税)

予約開始 | 2025年2月20日より

予約場所 | KYOTOGRAPHIE
公式Webサイト
(<https://store.kyotographic.jp>)

販売場所 | インフォメーション町家、
TIME'S(会期中)
KYOTOGRAPHIE & KG+
PHOTOBOOK FAIR 2025
(4月25日-27日)にて販売

KG+SELECT 10 YEARS, 10 ARTISTS

サイズ | 182×257mm

製本 | ハードカバー(糸かがり綴じ)

ページ | 256ページ

ブックデザイン | 頼怡學

編集 | 伊藤礼香、中澤有基、頼怡學

発行 | 一般社団法人 KYOTOGRAPHIE

共同制作 | SIGMA

発売元 | 株式会社 青幻舎

印刷・製本 | 株式会社サンエムカラー

刊行 | 2025年4月発売

ISBN | 978-4-86152-984-9

KYOTOGRAPHIE & KG+ PHOTOBOOK FAIR 2025

KYOTOGRAPHIE 2025 | 2nd. Press Release | 2025.2.25 p.9/11

「KYOTOGRAPHIE & KG+ PHOTOBOOKFAIR」は、KYOTOGRAPHIEとKG+が初めて共催する特別なブックフェア。国内外の出版社や書店が集結し、3日間にわたって開催します。KYOTOGRAPHIE 2025のアーティストのフォトブックをはじめ、国内外の写真集や書籍、KYOTOGRAPHIEオリジナルの出版物まで幅広く取り揃えます。写真集の魅力を直接伝えることで、読者との新たな出会いを創出します。

日時 | 2025年4月25日(金) — 4月27日(日)

入場 | 無料

会場 | TIME'S

主催 | KYOTOGRAPHIE, KG+



KG+

300人以上のアーティストが参加、150を超える展覧会が、京都市内約120会場で開催！

KG+はKYOTOGRAPHIEのサテライトイベントとして開催される、キャリアや世代を問わない公募型フォトフェスティバルです。これからの才能を京都から世界へ送り出すことを目指し、国内外のアーティストやキュレーター、ギャラリストとの出会いの場を生み出してきました。2015年にスタートし、2025年で13回目を迎えます。

2025年のKG+は、150を超える展覧会が市内120カ所で開催。ギャラリーやショップ、カフェ、ホテルなどを舞台に、300人以上のアーティストが参加します。合わせて会期中は、作家たちによるトークイベントやワークショップ、ツアーのほか、KG+主催のイベントも開催します。街中の黄色い旗を目印に、エネルギーに満ちた多様な表現が地域と訪れる人々をつなぎ、新たな発見や交流を創出します。



会期 | 2025年4月12日(土) — 5月11日(日)

主催 | 一般社団法人 KYOTOGRAPHIE

共催 | 京都市、京都市教育委員会

後援 | 京都府

メインスポンサー |

SIGMA FUJIFILM

スポンサー |

DIOR

京都新聞印刷

THE NORTH FACE

pennington

京都府観光局



KG+SELECT

KYOTOGRAPHIE 2025 | 2nd. Press Release | 2025.2.25 p.10/11

KG+SELECT Supported by SIGMA

「KG+ Award」として2015年にスタートし、2019年より「KG+SELECT Award」へと改称された公募型のアワードです。キャリアや世代を問わず世界中から集まったエントリーの中から、国際的に活躍する審査員により10組のファイナリストを選出。

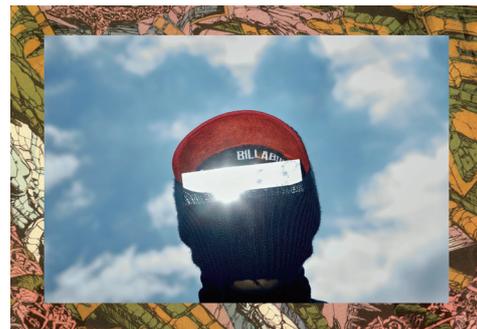
展覧会の審査を経て、4月13日に1組のアワード受賞者 (KG+SELECT Award Winner) が発表されます。受賞者は、「KYOTOGRAPHIE 2026」への参加が決定。今年は5ヵ国10名のアーティストがファイナリストに選出されました。

KG+SELECT 2025 ファイナリスト (順不同)

フェデリコ・エストル (ウルグアイ)
ヴィノッド・ヴェンカパリ (インド)
何兆南 (サウス・ホー・シウナム) (香港)
リティ・セングプタ (インド)
牟禮朱美 (日本)
奥田正治 (日本)
南川恵利 (日本)
時津 剛 (日本)
サンヒョン・ソン (韓国)
西岡 潔 (日本)



© Vinod Venkapalli



© Federico Estol



© Eri Minamikawa



© Riti Sengupta



© Nishioka Kiyoshi

「KG+SELECT 2026」 EXHIBITION

会期 | 2025年4月12日 (土) — 5月11日 (日) 11:00 - 18:30 (最終入場18:00)

会場 | 堀川御池ギャラリー

KG+SELECT 2025に選出された10名のアーティストによる展覧会を開催いたします

「KG+SELECT Award 2025」 CEREMONY

日時 | 2025年4月13日 (日) 18:00 - (予定)

会場 | 京都芸術センター 2階講堂

アワード受賞者を発表するセレモニーを行います

「KG+SELECT 2025」 審査員

アンドレア・ホルツヘル (マグナム・フォト (パリ) グローバル・カルチャー・ディレクター)

エレナ・ナバロ (「POTOMÉXICO」創設者兼芸術監督)

綾 智佳 (The Third Gallery Aya オーナーディレクター)

ルシール・レイボーズ & 仲西祐介

(KYOTOGRAPHIE、KYOTOPHONIE、KG+ 共同創設者・共同ディレクター)

KG+
SELECT 2025

KYOTOPHONIE

KYOTOGRAPHIE 2025 | 2nd. Press Release | 2025.2.25 p.11/11

KYOTOPHONIE ボーダレスミュージックフェスティバル 2025 春

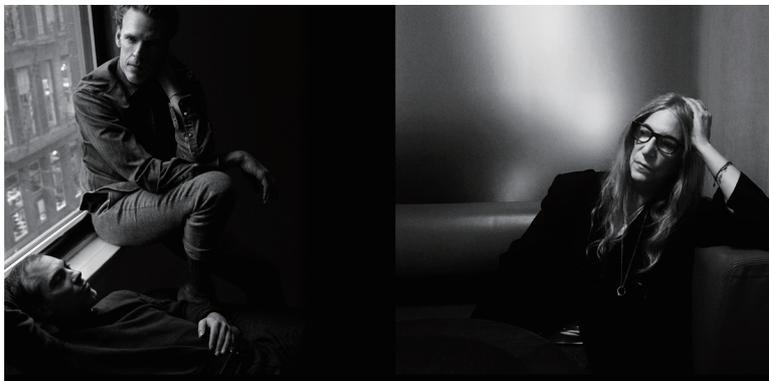
この度、一般社団法人 KYOTOPHONIEは、「KYOTOPHONIE ボーダレスミュージックフェスティバル 2025 春」のラインナップを発表いたします。世界的な文化アイコンであるパティ・スミスとニューヨークやベルリンを拠点に活動する現代音響芸術コレクティブ「サウンドウォーク・コレクティブ」、水曜日のカンパネラの初代ボーカリストコムアイとサウンドアーティストの森永泰弘、そしてブラジルで人気を集めるファルセット・ヴォイスのロックスター、ファイリペ・カット。

各公演は、KYOTOPHONIEの姉妹イベントKYOTOGRAPHIE 2025開催期間に合わせて2025年4月12日(土)―5月11日(日)に、京都市内各所にて行われます。

KYOTOPHONIEは毎年、国内外の多彩なアーティストを京都に招き、パフォーマンスを繰り広げています。毎年春と秋に開催されるこのフェスティバルは、「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」の共同創設者であるルシール・レイボーズと仲西祐介によって2023年に設立されました。両フェスティバルは、従来のジャンル、会場、形式にとらわれず、京都と世界を繋ぐ架け橋となっています。「KYOTOPHONIE ボーダレスミュージックフェスティバル 2025 春」は、姉妹イベントであるKYOTOGRAPHIE 2025のテーマ「HUMANITY」からインスピレーションを受け、写真の枠を超えて音やパフォーマンスの世界にも広げていきます。



ファイリペ・カット © Juliana Robin



© Soundwalk Collective (Stephan Crasncanski, Simone Merli) (Photo by Vanina Sorrenti) Patti Smith (photo by Jesse Paris Smith)



コムアイ

KYOTOGRAPHIE / KYOTOPHONIE / KG+ キックオフパーティー

日程 | 2025年4月12日(土) 20:00-

会場 | CLUB METRO

出演 | ファイリペ・カット 他

コムアイ with 森永泰弘 / ファイリペ・カット | Soundscapes From Brazil & Beyond

公演日 | 2025年4月19日(土)

会場 | ヒューリックホール 京都

公演時間 | 17:00開場 17:30開演

チケット | 前売り 5,000円 イープラスにて発売中

KYOTOPHONIE in collaboration with MODE

サウンドウォーク・コレクティブ & パティ・スミス | コレスポンデンス

公演日 | 2025年4月29日(火・祝)

会場 | ロームシアター 京都 サウスホール

昼公演 | 12:00開場 13:00開演

夜公演 | 16:50開場 17:30開演

チケット | 5,500-20,000円 イープラスにて3月8日(土)10:00から最終先行先着開始

主催 | KYOTOPHONIE / MODE / 株式会社YY

主催
KYOTOPHONIE
Borderless Music Festival

共催
京都市

メインスポンサー

DIPTYQUE
PARIS

agnès b.

THE RITZ-CARLTON
KYOTO

スペシャルパートナー
α-STATION FM KYOTO
モレイラ・サレス研究所
CLUB METRO

In Collaboration with
KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭